

学びのデザインシート（授業後）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【国語科】

1. 対象 4年生

本学級の児童は、新しいことを学ぼうとする意欲が高い。また、学んだことを次の単元でも活用できないかと考えながら授業に取り組む様子が見られる。5月には、説明文「ヤドカリとイソギンチャク」の学習で段落相互の関係に着目して読み、考えを分かりやすく説明するにはそれを支える理由や事例を上手に組み立てて伝えるとよいことに気付くことができた。しかし、個で見えていくと段落相互の関係性を理解することや文章の読み取りに難しさを感じている様子も見られる。

この実態からどの子も自分で文章の内容を読み取り、感じたことや考えたことを分かりやすく表現できるようになってほしいと考えた。そこで、本単元では「和室と洋室のよさを紹介する」という読みの目的を明確にし、そのために中心となる語や文を見つけて要約することや自分が紹介したい内容を選択し、新聞の一部としてまとめることを意識して授業づくりを行い、実践していきたいと考えている。

2. 単元名 「和室と洋室のよさを紹介しよう -くらしの中の和と洋-」（全8時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	・比較や分類の仕方,必要な語句などの書き留め方を理解し,使うことができる。 (2)イ
思考力,判断力,表現力等	・「読むこと」において,段落相互の関係に着目しながら,考えを支える理由や事例との関係などについて,叙述を基に捉えることができる。C(1)ア ・「読むこと」において,目的を意識して,中心となる語や文を見つけて要約することができる。C(1)ウ
学びに向かう力,人間性等	・言葉がもつよさに気付くとともに,幅広く読書をし,国語を大切に,思いや考えを伝え合おうとする。

4. 本時の目標

必要な言葉や文章を見つけて短い文でまとめたり、友達と自分の文章を比べたりすることを通して、和室のよさを紹介するための要約文を書くことができる。

5. 授業展開【 本時 ・ 単元 】

解決したい課題や問い
どうしたら和室と洋室のよさを紹介できるかな。(単元を貫く問い)

考えるための材料			
①文章構成図	②挿絵	③本文入りのワークシート	④新聞づくり
想定される活動	想定される活動	想定される活動	想定される活動
各段落に書かれていることをまとめることで、内容を大まかにとらえることができる。	文章と挿絵を照らし合わせながら読むことで、内容を理解することができる。	和室と洋室のよさがわかる部分に線を引きながら、要約に必要な語や文を探していく。	要約した内容と自身の体験や考えを織り交ぜて新聞記事の一部を書く。(言語活動)

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）
① どんなお話なのかな。(全体) ・和風と洋風の説明文かもしれない。・着物の写真があったよ。和室と洋室の説明もあった。 ・建物について書かれていたよ。・みんなはどちらが好きなのかな。 「どうしたら和と洋のよさを紹介できるのかな」(単元を貫く問い)
② 和と洋とはどのようなものなのだろう。(全体) ☆挿絵と文章の内容を照らし合わせながら読み、和と洋の説明を理解できるようにする。 ☆文章構成図を作成することを通して、文章内容の大体をとらえることができるようにする。

・日本のものと外国のものっていう意味だと思う。 ・和室と洋室の説明が書かれていたよ。

③ 和室と洋室の違いは、どのようなものなのだろう。(個→全体)

☆観点ごとに文章から読み取ったことを表にまとめ、和と洋の違いを比較できるようにする。

- ・和室には畳があるけれど、洋室にはない。 ・洋室の床は板だからタンスを置いても傷つかない。
- ・部屋によって過ごし方や使い方が違うんだね。

④ 和室や洋室のよさを紹介するには、どのようにまとめたらいいかな。【本時】

☆文章を「よさ」「よさの説明」で色分けし、それを手がかりに一文で和室のよさをまとめることを通して、要約の意味を理解することができるようにする。

- ・どの部分がよさなのかな。 ・どうやったら短くまとめることができるのだろう。

【※要約の説明】

- ・くり返し出てくる言葉を見つけてみよう。 ・姿勢と正座って同じかもしれない。
- ・似ている言葉はまとめられるね。 ・表にまとめると分かりやすいかもしれないよ。

☆まとめた文を情報共有アプリで提出し、自他の文章を比べることを通して、修正の機会をつくる。

- ・体験談が入っていると読みやすい。 ・一文でも大切な言葉が入っていると分かりやすいな。

⑤⑥どの言葉を使ってまとめるとよいかな。(個→交流→個→全体)

☆前時の経験を基に、他の段落の文章も必要な言葉を入れて要約し、短くまとめることができるようにする。(まとめたものは、随時情報共有アプリに提出することで、苦手な児童がまとめる手がかりになるようにする。)

- ・洋室はさすがキーワードになりそう。 ・部屋の使い方の中にもよさが隠されているようだな。

⑦和室と洋室のよさと私たちのくらしのつながりはどんなところかな。

☆前時までまとめた要約文と自分の生活の様子を関連付けて考えることを通して、紹介文の事例として利用できるようにする。

- ・うちの和室では、寝転んだとき気持ちがよかったな。 ・洋室は掃除がしやすいよね。
- ・畳に布団を敷いて寝たり、起きていともこと遊んだり……和室のよさとつながるぞ！

⑧和室や洋室のよさを自分の言葉でまとめよう。

☆前時までまとめた材料を利用し、新聞をまとめることができるようにする。

- ・だらだら書きすぎないようにしよう。 ・和風推しの文になるようにまとめるぞ！
- ・写真も選んで入れてみよう。 ※単元計画：第1次が①、第2次が②～⑦、第3次が⑧

学習の成果 (予想される生徒のあらわれ)

- ・和室のよさは「いろいろな姿勢で座れることと、いろいろな目的に合わせて使うことができること」だと分かった。
- ・洋室のよさは、「椅子を使って目的に合わせた姿勢が取れること、次の動作に移るのが簡単なこと」だと分かった。
- ・要約すると、大切なことを短くまとめて伝えられることがわかった。
- ・大事なところに線を引いてからまとめると要約しやすかった。
- ・要約したことと自分の考えを混ぜて文を書くのは難しかった。
- ・部屋のことだけではなく、衣服や食事のことも調べてまとめたいな。